

えっとまめな介護だより Vol.22

「えっとまめな介護だより」では、これまで市が実施している「介護お助け隊」の取組や介護サービス事業所が行う介護人材確保対策の取組を紹介してきましたが、そのほかの機関でも介護人材の確保・定着に向けてさまざまな取組が行われています。

今回は、県立西部高等技術校の公共職業訓練「福祉サービス資格取得コース」を紹介します。

「福祉サービス資格取得コース」とは？

求職者（ハローワークからの手続きが必要）が対象で、定員は12名です。約3カ月（約400時間）の訓練期間で、介護職員初任者研修修了証を取得することができます。訓練カリキュラムには、介護の基本、認知症の理解、障がいの理解などの学科（130時間以上）や移動・移乗・入浴・排泄等の介護実技（70時間以上）、就職支援等（48時間以上）、介護施設での実習（140時間以上）などが組み込まれています。受講者の年齢層は18歳から60代まで幅広く、退職後のセカンドキャリアのために受講する方もおられます。コース修了前には、学科と実技の試験が実施され、合格者には修了証が交付されます。これまで、全ての受講生が合格しています。



【介護職員初任者研修修了資格】

介護保険サービスを提供することができる国が定めた全国共通の介護基礎資格です。この基礎資格に実務経験3年、その他の専門研修（320単位）を取得することで、国家資格の介護福祉士受験が可能となります。

受講料は？

テキスト代として20,000円程度（保険料含む）が必要です。

他の機関で同じ資格を取得するためには50,000円以上かかることもありますが、県立西部高等技術校のコースは県の補助金を活用しているので、安く受講することができます。

受講するには？

令和5年度も同コースが開設される予定です。詳しくは、県立西部高等技術校のホームページをご覧ください。

（問い合わせ先）県立西部高等技術校 ☎ 22-2450

県立西部高等技術校ホームページ ▶



就職状況

受講者の介護職場への就職率は75～80%と非常に高いのが特徴です。コース途中で辞退する受講者はほぼいません。これは、カリキュラムの中で学科はもちろん、メンタルヘルスや介護技術をしっかり学ぶことができること、受講者に寄り添った指導がなされていることが理由として挙げられます。また、コース終盤の施設学習では、受講生が自ら実習を受けたい施設を決めているので、施設学習を受けた施設に就職する受講者が多いです。

先輩からの応援メッセージ

- 講習、実技は毎日がとても楽しかったです。現場での実習がとても大きな壁です。実習先では思い通りにいかないことや嫌なこともあります。間違いなく自分の力になると思います。
- 介護実習は疲れますが、諸先輩方の介護の奥深さに触れると感動します。介護は「してあげるもの」ではなく「お手伝いして差し上げるもの（さりげなく、押しつけがましくなく）」だということに、だんだんと気付かされます。
- この経験を通して、大変な世の中を過ごしてこられた高齢者の方や、介護に携わっている方々を尊敬していることに気付かされました。介護という仕事は誇りの持てる仕事です。頑張ってください。

取材にご協力いただいた県立西部高等技術校の職員の皆さん、ありがとうございました。

【問い合わせ先】市高齢者福祉課 ☎ 31-0218 FAX 24-0181